

経済協力開発機構原子力機関（OECD/NEA）
原子力規制活動委員会（CNRA）安全文化ワーキンググループ（WGSC）
第11回会合の結果概要

令和4年10月26日
原子力規制庁

1. 趣旨

本議題は、10月18日から20日にフランス・パリにおいて開催された、経済協力開発機構原子力機関（OECD/NEA）の常設委員会である原子力規制活動委員会（CNRA：Committee on Nuclear Regulatory Activities）に設置され、伴委員が議長を務める「安全文化ワーキンググループ（WGSC※：Working Group on Safety Culture）」の第11回会合について報告するものである。

2. 結果概要

10月18日から20日までの3日間、フランス・パリにおいてWGSCの第11回会合が開催され、原子力規制委員会から伴委員（WGSC議長）他が出席した。

今回の会合には我が国を含めて計12か国・機関が参加し、1）安全文化に関する規制機関と事業者間の相互影響、1）リーダーシップという二つの課題について、ワーキンググループとしての報告書策定に向けた議論を行った。また、2023年より「リーダーシップ及び安全文化ワーキンググループ（WGLSC：Working Group on Leadership and Safety Culture）」として改編されるにあたり、改編後の本ワーキンググループの作業計画書案について議論を行った。

次回は、第1回WGLSC会合が、来年4月に開催される予定。

※原子力規制機関自身や事業者等の関係者の中で健全な安全文化を醸成するための実践的な手法等を議論するために、CNRAに設置されたワーキンググループ。

以上